

**今日のトピック** 鉄鉱石・石炭価格の動向  
**鉄鉱石価格は上昇基調**

**ポイント1** 鉄鉱石価格は上昇  
石炭価格も高水準を維持

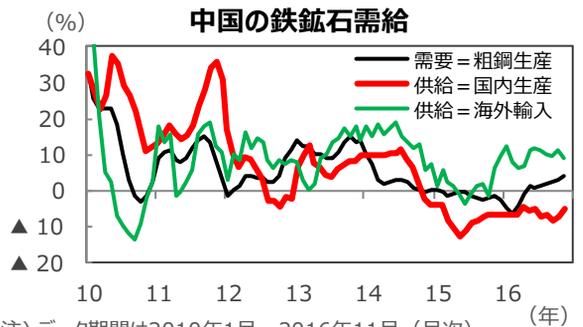
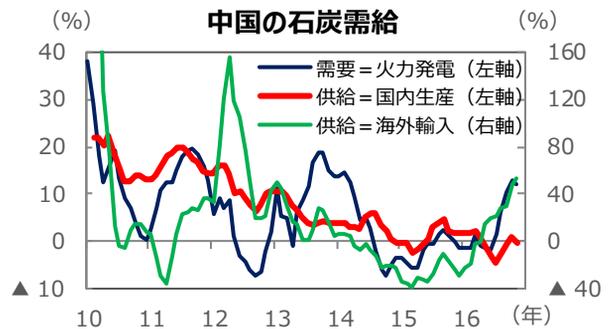
- 石炭価格は、鉄鋼用原材料としてのコークス製造などに利用される原料炭で見て、2016年2月初旬の1トン当たり約75ドルを当面の底に上昇へと転じ、16年11月に同300ドル台に乗せました。その後は値を下げましたが、直近でも同180ドル台の高水準を維持しています。
- 一方、鉄鋼の主原料となる鉄鉱石の価格は2015年12月の1トン当たり40ドル割れの水準から16年12月の同83ドル台へ上昇。その後も同80ドル前後の水準で堅調に推移しています。

**ポイント2** 需給が好転  
中国の生産抑制が寄与

- 価格上昇の背景には、最大の消費国である中国の景気持ち直しに対する期待と、生産能力削減を主因とする需給関係の好転があると見られます。特に石炭は、中国政府による鉱山の生産能力削減や減産指導が在庫削減に寄与しました。
- その結果、石炭の在庫は減少し、むしろ供給不足が顕著となりました。中国政府は、環境への影響が少ない再生可能エネルギーの普及を促すために設定した炭鉱の年間操業日数の短縮化目標（年間の操業日数を276日に制限）を、昨年一定の条件を満たした企業について緩和したほか、大手の石炭会社に増産命令を下したほどです。

**今後の展開** 今後も底堅い展開へ

- 中国経済は、都市化政策をはじめとするインフラ投資の拡大や民間投資の持ち直しを支えに、今後も安定した成長が見込まれます。
- 目先的には鉄鉱石・石炭価格とも昨年後半における急騰の反動が予想されますが、中国経済の安定成長に伴い中期的には底堅い推移が見込まれます。



**ここもチェック!** 2016年12月22日 2017年中国経済の見通し  
2016年12月22日 安定重視の「中央経済工作会議」(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。